



# 国際共通語としての英語力向上のための 5つの提言と具体的施策

～英語を学ぶ意欲と使う機会の充実を通じた  
確かなコミュニケーション能力の育成に向けて～

文部科学省国際教育課外国語教育推進室

## はじめに

社会や経済のグローバル化が急速に進展する中、英語力の向上は教育界のみならず産業界など様々な分野に共通する喫緊かつ重要な課題です。

このため、文部科学省では、平成22年11月に『外国語能力の向上に関する検討会』（座長：吉田研作上智大学外国語学部英語学科教授・上智大学一般外国語教育センター長）を設置し、生徒の外国語能力の向上のため、目標設定の在り方や生徒に求められる英語力、ALTの活用等の方策について今後の施策に反映させるため検討を進めてきました。

そして、平成23年6月30日、「検討会」における審議まとめである『国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策～英語を学ぶ意欲と使う機会の充実を通じた確かなコミュニケーション能力の育成に向けて～』（以下、「審議まとめ」）がとりまとめられました。

## 「ALTの効果的な活用」が提言

「審議まとめ」では、生徒の英語力向上のためにALTを効果的に活用すること、また、ALTの役割、とりわけJETプログラムによるALTの役割の大きさが改めて強調されています。ALTの活用について学校としての考えを確かにもち具体的な計画を立案する等、管理職を中心とした学校の主体性が一層求められています。以下に、当該部分を抜粋します。

**提言3. ALT、ICT等の効果的な活用を通じて生徒が英語を行う機会を増やす。**

ALTは、チーム・ティーチングなどの活動を通して生徒が授業で生きた英語に触れたり、実際に英語を使ったりする機会の充実に資する重要な存在である。また、（中略）部活動や特別活動などの授業外においても、ALTを活用する機会を充実させることが重要である。その際、JETプログラムによるALT（中略）は、柔軟な活用が可能であり、その役割は大きい。（後略）

## 平成24年度に向けて

文部科学省は、「審議まとめ」に係る状況調査を実施しました。その結果をふまえ、授業外におけるALTの活用方法などに関する情報を教育委員会等へ提供する予定です。学校や教育委員会がALTを効果的に活用できるよう、できる限り支援させていただきたいと考えています。

※「審議まとめ」は、文部科学省のホームページに掲載されています。

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/23/07/1308888.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/23/07/1308888.htm)

## 国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策（概要）

### 基本的考え方

- 英語力の向上は、教育界のみならずすべての分野に共通する喫緊かつ重要な課題
- 求められる英語力は、例えば、
  - ・臆せず積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度
  - ・相手の意図や考えを的確に理解し、論理的に説明したり、反論・説得したりできる能力 など
- 新学習指導要領の着実な推進は、我が国の国民の英語力向上のための基本  
→ 平成28年度の達成を目指した社会全体を挙げての5つの提言

### 提言1：生徒に求められる英語力について、その達成状況を把握・検証する。

- 国や教育委員会、学校は外部検定試験を活用し生徒に求められる英語力の達成状況を把握・検証。  
※学習指導要領に基づき達成される生徒の英語力 中学校卒業段階：英検3級程度以上 高等学校卒業段階：英検準2級～2級程度以上
- 国は、国として学習到達目標をCAN-DOリストの形で設定することに向けて検討。
- 学校は、学習到達目標をCAN-DOリストの形で設定・公表し、達成状況を把握。

### 提言2：生徒にグローバル社会における英語の必要性について理解を促し、英語学習のモチベーション向上を図る。

- 教育委員会や学校は、企業の協力を得て、生徒に英語を使って仕事をしている現場などを見せる。
- 国や教育委員会は、高校生の海外留学を推進。  
→18歳の時点までに中長期の留学ないし在外経験を有する者の3万人規模への増加を目指す。

### 提言3：ALT、ICT等の効果的な活用を通じて生徒が英語を使う機会を増やす。

- 国は、ALTの活用実態を把握するとともに、授業外におけるALTの活用方法やICTを用いた海外との交流学习・協働学習などALTやICTの効果的な活用に関する情報を提供。
- 教育委員会は、優秀な外国人教員などの採用を推進。→600人の採用を目指す。
- 国は、民間人材や教材、指導事例など、英語教育に関する情報を掲載したポータルサイトを構築。

### 提言4：英語教員の英語力・指導力の強化や学校・地域における戦略的な英語教育改善を図る。

- 国は、英語教員に求められる英語力についてその達成状況を把握・公表。  
※英語教員に少なくとも求められる英語力：英検準1級、TOEFL(iBT)80点、TOEIC730点程度以上
- 教育委員会は、英語教員採用の際、外部検定試験等を活用し、英語教員に一定の英語力を求める。
- 教育委員会は、地域の戦略的な英語教育改善のための拠点校を形成 →250校程度を目指す。
- 国は、国際バカロレアレベルの学校やスーパーサイエンスハイスクールなどの先進的な取組を推進

### 提言5：グローバル社会に対応した大学入試となるよう改善を図る。

- 国は、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」を総合的に問う入試問題の開発・実施を促進。
- 国は、AO入試・一般入試等においてTOEFL・TOEIC等の外部検定試験の活用を促進。